

～北陸地方整備局～

(様式2-取組概要)

<p>カテゴリ</p>	<p>1. ハード対策の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 洪水を河川内で安全に流す対策 ■ 危機管理型ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削 ・堤防天端の保護
<p>内容</p>	<p>洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進（山島新田、関屋分水路地区他） 堤防天端の保護（加茂新田、石上、大川津地区）</p>
<p>実施主体</p>	<p>国土交通省信濃川下流河川事務所</p>

山島新田地区 河道掘削実施状況



《着手前》



《施工中》



《H29年3月 施工状況》

石上地区 堤防天端のアスファルト保護実施状況

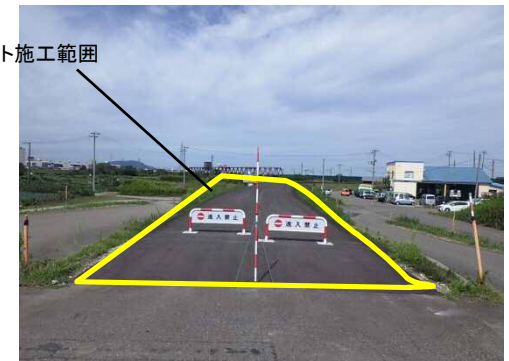


堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす。



《着手前》

アスファルト施工範囲



《完成》

(様式2-取組概要)

<p>カテゴリ</p>	<p>1. ハード対策の主な取組 ■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置を行う。</p>
<p>内容</p>	<p>簡易水位計、CCTVカメラ・量水標の設置</p>
<p>実施主体</p>	<p>国土交通省信濃川下流河川事務所</p>

監視強化のため、越水危険箇所に簡易水位計、CCTVカメラ、量水標を設置。

【実施概要】簡易水位計・CCTVカメラは、管内でも特に越水等の危険性が高い箇所の監視を目的に設置するものであり、これらを用いて監視強化を行っている。

水位計設置状況



簡易水位計設置状況



CCTVカメラ設置状況



(様式2-取組概要)

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■情報伝達、避難計画等に関する事項 ①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信、防災情報の充実
内容	水位・気象情報等の情報発信
実施主体	国土交通省信濃川下流河川事務所

プッシュ型の洪水予報等の情報発信をH29.5.1から開始。

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、流域住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月より国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川自治体（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を取り組んでいます。

北陸地方整備局では、平成29年出水期前から、洪水情報のプッシュ型配信を開始。

※ 洪水情報とは、指定河川洪水予報の氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

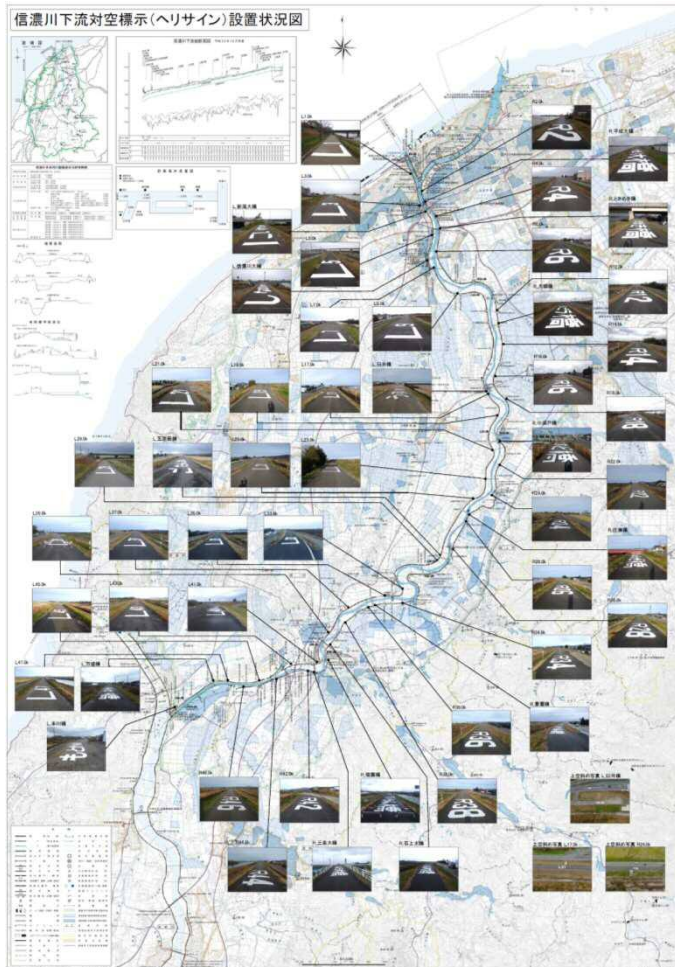


洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※ 今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

(様式2-取組概要)

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■ 救援・救助活動の効率化に関する取組 ① 大規模災害時の後援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
内容	広域支援拠点等の検討・支援
実施主体	国土交通省信濃川下流河川事務所



信濃川下流域対空標示(ヘリサイン) 設置状況

直轄河川管理における対空標示（ヘリサイン）を設置

【実施概要】ヘリサインは、地震・出水等の災害時において、防災ヘリコプター等により上空から河川管理施設の被災及び氾濫状況を把握した位置の特定を迅速に行うことを目的とするものです。

信濃川下流域では、本川下流及び兼用道路等除く堤防天端に「距離標」及び「橋梁名」を設置しました。（H28年度実施）



上空斜め写真 L17.0k



距離標(R38K)



橋梁名(大郷橋)